

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	仙台工科専門学校
設置者名	学校法人北杜学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	測量学科	夜・通信	150 時間	80 時間	
	環境土木工学科	夜・通信	315 時間	160 時間	
工業専門課程	建築デザイン学科	夜・通信	390 時間	160 時間	
	大工技能学科	夜・通信	1080 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校のHP(<https://sks.ac.jp/disclosure/>)にアップしております。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台工科専門学校
設置者名	学校法人北杜学園

1. 理事(役員)名簿の公表方法

「学校法人北杜学園 令和3年度 事業報告書」 4 ページ参照

<https://sks.ac.jp/assets/pdf/disclosure/2022Jigyouhoukoku.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前仙台市副市長	令和3年4月1日 ～ 令和5年3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役社長	令和3年4月1日 ～ 令和5年3月31日	経営戦略の策定
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台工科専門学校
設置者名	学校法人 北杜学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>1) 次年度の科目担当者を前年度末頃に決定し、各科担当者が授業計画書シラバスを作成します。</p> <p>2) 各学科長が学科科目のとりまとめをし、授業のやり方、内容、到達目標・成績評価の基準及び方法、又学校規定に沿って作成されているかを確認しシラバス作成のガイドラインと照らし合わせて精査をします。</p> <p>2) 教務統括が全学科分のシラバスの最終確認をし授業のやり方、内容、到達目標・成績評価の基準及び方法、又学校規定に沿って作成されているかを確認します。</p> <p>4) 事務局が構成を精査し1つのPDFファイルとしてシラバスを完成させ、校長の最終確認後、年度初めに本校HPにて公開が出来るよう進めております。</p>	
授業計画書の公表方法	本校のHP ( <a href="https://sks.ac.jp/disclosure/">https://sks.ac.jp/disclosure/</a> )にアップする。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>・定期試験、生活態度、小テスト・出欠状況等により総合評価を行い、60点以上を合格とする。(不合格者は補講後再試験を実施する。)</p> <p>・年2回(前期・後期)の成績会議において、各教科担当者が評価したことについて教員全体で問題点等を確認しあい、対応策を立てて進めている。          なお、生活態度・欠席・遅刻・成績不振な学生に対しては担任が学生本人と二者面談をしております。必要に応じては保護者を含めた三者面談も行っております。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

年2回の前期・後期の成績会議時の成績は、年間に実施する教科目に対する学生全員の成績を100点満点で表記(60点以上を合格基準)として、担任はクラス全員のデータを一覧表にして作成し会議資料として校長に提出する。

なお、出席状況については会議日時点で資料を作成し、年間許容欠席数と比較する事により学生全員の授業に対する取り組みも評価の一部として活用している。

・最終的に成績通知書・成績証明書に表記する場合、4段階評価として表記する。

評価	評価点	判定	GP
A	100点～80点	合格	3
B	79点～70点		2
C	69点～60点		1
D	60点未満	不合格	0

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

本校のHP  
(<https://sks.ac.jp/disclosure/>)にアップする。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

年度2回(前期・後期)成績会議を行い、その後卒業・進級認定会議を行います。各学科の学生全員の成績を含め総合評価を学科ごと担任が発表し、問題等があれば協議して対応策を教員全員で考えております。最終的に会議のまとめとして、校長が卒業・進級について決定を致します。

仙台工科専門学校学則第28条に基づき、施行細則第5条に該当する者は進級又は卒業をすることが出来ません。

(卒業ができない基準)

1. 成績評価が60点未満【D】のある者
2. 試験を受けない者
3. 出席率が教育課程の年次毎の授業時間数の合計が90%に達しない者
4. 授業料等の学納金を完納していない者

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本校のHP  
(<https://sks.ac.jp/disclosure/>)にアップする。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	仙台工科専門学校
設置者名	学校法人北杜学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	仙台工科専門学校ホームページ 「学校法人北杜学園 令和3年度 事業報告書」 貸借対照表：14 ページ、 収支計算書：11 ページ、 財産目録：17 ページ、 監事による監査報告書：18 ページ参照 <a href="https://sks.ac.jp/assets/pdf/disclosure/2022Jigyuhoukoku.pdf">https://sks.ac.jp/assets/pdf/disclosure/2022Jigyuhoukoku.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	測量学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	1,230 単位時間 /64 単位	720 単位時間 /単位	0 単位時間/ 単位	510 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間 /単位
	昼		1,230 単位時間/64 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		37人	0人	4人	9人	13人	

## カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

### (概要)

本学科は、修業年限が1年の学科です。

履修すべき授業時数は、年間800時間以上で1単位時間は45分の授業形態となっております。

また、国土地理院管轄の測量養成施設となっており、測量法で定められている教科目を規定の時間で行い、測量士補(測量士)になる為に必要な専門知識と技術を習得させる授業を行っております。

授業は講義と実習の形態で行われており、座学は仙台校舎で行い、実習は大和町宮床にある実習場と県から道路・河川使用許可を頂き、実践力を身につける授業を行っております。

## 成績評価の基準・方法

### (概要)

成績評価については、教科目が講義・実習に分かれており、基本的にはペーパー試験・小テスト・学習態度・出欠状況を含む平常点により総合評価で60点以上が合格となっております。

ペーパー試験で不合格となった学生に対しては補講を行い再試験を実施して再評価を行います。学習態度・出席状況については状況に応じて担任が学生と二者面談を行い、その後保護者を含めた三者面談を行い状況の改善に努めております。

## 卒業・進級の認定基準

### (概要)

卒業・進級に関しましては、後期試験後に卒業・進級認定会議があり

担任がまとめたクラス学生全員の成績・出席・授業態度等の資料を基に

全教員で評価を認定し、最終的に校長が決定します。

### 【進級及び卒業ができない基準】

1. 成績評価が60点未満【D】のある者
2. 試験を受けない者
3. 出席率が教育課程の年次毎の授業時間数の合計が90%に達しない者
4. 授業料を完納していない者

## 学修支援等

### (概要)

担任・副担任制をとっており、本人・保護者との二者・三者面談を実施しており、状況に応じては学園内にある学生相談室のカウンセリングも勧めております。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	37人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 測量関係業界			
(就職指導内容) 担任が個人面談を行い就職に関する本人の意向を確認・把握しながら進めております。企業様からの求人票を受付した Excel ファイルで一覧表を作成し、全ての対象学生が就職支援室の PC5 台で閲覧出来る環境を整えております。 また、学校斡旋として学生の書類を作成し・送付までを学校が全てを行い企業様からの連絡を学生に伝えたり、希望者がいる場合には面接の指導も行っております。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国土交通省国土地理院管轄の測量養成施設となっており、測量関係の国家資格である測量士補(測量士)の資格を卒業と同時に取得できます。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任制をとっており、本人と二者面談を行い、さらに保護者との三者面談を実施し打開策等を模索し状況の改善に務めております。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	環境土木工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,415 単位時間 /130 単位	1,545 単位時間 /単位	0 単位時間/ 単位	870 単位時間/ 単位	0 単位時 間/単位	0 単位時間/ 単位
			2,415 単位時間/130 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		72人	0人	4人	42人	46人	
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)							
<p>(概要)</p> <p>本学科は、修業年限が2年の学科です。 履修すべき授業時数は、年間800時間以上で2年間で1,700時間以上となります。 国土地理院管轄の測量養成施設となっており、測量法で定められている教科目を規定の時間で行っております。 1年次は測量士補(測量士)になる為に必要な専門知識と技術を習得させる授業となっております。また授業は講義と実習の形態で行われており、座学は仙台校舎で行い、1年次の実習は大和町宮床にある実習場と県から道路・河川使用許可を頂き実践力を身に着ける授業を行っております。</p> <p>2年次は、大学の土木工学科で勉強する一般土木の設計・施工関係の授業内容となっており、補償コンサルタントなどの授業も行っております。 また、授業は講義と実習の形態で行われており、座学は仙台校舎で行い、国土交通省 東北技術事務所にて体験型実習を行っております。又、今年度はEE 東北にも参加しました。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>(概要)</p> <p>成績評価については、教科目が講義・実習に分かれており、基本的にはペーパー試験・小テスト結果・学習態度・出欠状況を含む平常点により総合評価で60点以上が合格となっております。</p> <p>不合格となった学生に対しては補講を行い再試験を実施して再評価を行います。 学習態度・出席状況については状況に応じて担任が学生と二者面談を行い、その後保護者を含めた三者面談を行い状況の改善に努めております。</p>							

## 卒業・進級の認定基準

### (概要)

卒業・進級に関しては、後期試験後に卒業・進級認定会議があり、担任がまとめたクラス学生全員の成績・出欠・授業態度等の資料を基に全教員で評価を協議し、最終的に校長が決定します。

### ・進級及び卒業ができない基準

1. 成績評価が60点未満【D】のある者
2. 試験を受けない者
3. 出席率が教育課程の年次毎の授業時間数の合計が90%に達しない者
4. 授業料を完納していない者

## 学修支援等

### (概要)

担任・副担任制をとっており、本人・保護者との二者・三者面談を実施しております。状況に応じては学園内にある学生相談室のカウンセリングも勧めております。

## 卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)

### (主な就職、業界等)

測量・土木関係業界

### (就職指導内容)

担任が個人面談を行い就職に関する本人の意向を確認・把握しながら進めております。企業様からの求人票を受付したExcelファイルで一覧表を作成しており、全ての対象学生が就職支援室のPC5台で閲覧出来る環境を整えております。また、学校斡旋として学生の書類を作成し・送付までを学校が全てを行い企業様からの連絡を学生に伝えたり、希望者がいる場合には面接の指導も担任が行っております。

(主な学修成果(資格・検定等))	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・測量士補(測量士)の資格</li> <li>・2 級土木施工(学科)</li> <li>・小型移動式クレーン技能講習</li> <li>・フォークリフト技能講習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローラー特別教育</li> <li>・玉掛け技能講習</li> <li>・小型車両系建設機械</li> <li>・高所作業車運転技能士</li> </ul>
(備考)(任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	2 人	3.6%
(中途退学の主な理由)		
・進路変更 2 名		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任・副担任制をとっており、本人と二者面談を行い、さらに保護者との三者面談を実施し打開策等を模索し状況の改善に務めております。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	建築デザイン学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義・演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,055 単位時間 /100 単位	825 単位時間 /単位	1,230 単位時間/単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間 /単位
			2,055 単位時間/100 単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人		181 人	0 人	5 人	33 人	38 人

<p>カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)</p>
<p>(概要)</p> <p>1 年次は、建築の基礎として基礎製図・建築構造・建築計画などをカリキュラムに取り入れております。</p> <p>2 年次には卒業制作という科目で建築の計画・デザイン・設計までに至る工程を踏み、学生自身で手掛けた作品のプレゼンテーションを行ないます。</p> <p>選択科目の教科が導入されインテリア系(概論・製図・材料・実用 CAD)・建設系(意匠設計・実用 CAD・構造設計)の中から選択科目を決めて授業を受け、新たな知識の向上を目指しております。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>成績評価については、教科目が講義・実習に分かれており、基本的にはペーパー試験・小テスト結果・学習態度・出欠状況を含む平常点により総合評価で 60 点以上が合格となっております。</p> <p>不合格となった学生に対しては補講を行い再試験を実施して再評価を行います。</p> <p>学習態度・出席状況については状況に応じて担任が学生と二者面談を行い、その後保護者を含めた三者面談を行い状況の改善に努めております。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級に関しては、後期試験後に卒業・進級認定会議があり担任がまとめたクラス学生全員の成績・出欠・授業態度等の資料を基に全教員で評価を認定し、最終的に校長が決定します。</p> <p>・進級及び卒業ができない基準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成績評価が 60 点未満【D】のある者</li> <li>2. 試験を受けない者</li> <li>3. 出席率が教育課程の年次毎の授業時間数の合計が 90%に達しない者</li> <li>4. 授業料を完納していない者</li> </ol>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>担任・副担任制をとっており、本人・保護者との二者・三者面談を実施しております。</p> <p>状況に応じては学園内にある学生相談室のカウンセリングも勧めております。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
a			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
71人 (100%)	1人 ( 1.4%)	66人 ( 93%)	4人 (5.6%)
(主な就職、業界等)			
建築関係業界			
(就職指導内容)			
<p>担任が個人面談を行い就職に関する本人の意向を確認・把握しながら進めて全ての対象学生が就職支援室の PC5 台で閲覧出来る環境を整えております。学校斡旋として学生の書類を作成・送付までを学校が全てを行います。また、希望者がいる場合には面接の指導も担任が行っております。</p>			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業してすぐに二級建築士の受験が可能です。</li> <li>又4年の実務経験で一級建築士の受験が出来ます。</li> </ul> <p>【その他建築系資格・検定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2級建築施工管理技士補</li> <li>・商業施設士補</li> <li>・色彩士検定2級・3級</li> <li>・福祉住環境コーディネーター2級・3級</li> <li>・建築CAD検定2級・3級</li> </ul>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
160人	3人	1.9%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良 2名</li> <li>・進路変更 1名(公務員試験合格)</li> </ul>		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>担任・副担任制をとっており、本人と個人面談を行い、さらに保護者との三者面談を実施し打開策等を模索しております。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	大工技能学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義・演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,055 単位時間 /88 単位	645 単位時間 /単位	1,410 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間/ 単位
			2,055 単位時間/88 単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		57人	0人	3人	20人	23人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に大工建築の基礎として基礎製図・建築構造・建築計画など授業のほか木造工作実習に多くの時間を割いてカリキュラムをくみ実際にグループごとに一坪ハウスを協力しながら建造します。</li> <li>・2年次には週2回の木造工作実習において実寸大の2階建て住宅を基礎から大工専門の先生方から学び、3グループに分けて3棟建造します。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価については、教科目が講義・実習に分かれており、基本的にはペーパー試験・小テスト結果・学習態度・出欠状況を含む平常点により総合評価で60点以上が合格となっております。</p> <p>不合格となった学生に対しては補講を行い再試験を実施して再評価を行います。学習態度・出席状況については状況に応じて、担任が学生との二者面談を行い、その後保護者を含めた三者面談を行い状況の改善に努めております。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級に関しては、後期試験後に卒業・進級認定会議があり、担任がまとめたクラス学生全員の成績・出欠・授業態度等の資料を基に全教員で協議をして評価を認定し、最終的に校長が決定します。</p> <p>・進級及び卒業ができない基準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成績評価が 60 点未満【D】のある者</li> <li>2.試験を受けない者</li> <li>3.出席率が教育課程の年次毎の授業時間数の合計が 90%に達しない者</li> <li>4.授業料を完納していない者</li> </ol>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任・副担任制をとっており、本人・保護者との二者・三者面談を実施しております。状況に応じては学園内にある学生相談室のカウンセリングも勧めております。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39 人 (100%)	0 人 ( 0 %)	39 人 ( 100 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
建築関係業界			
(就職指導内容)			
<p>担任が個人面談を行い就職に関する本人の意向を確認・把握しながら進めております。企業様からの求人票を受付した Excel ファイルで一覧表を作成しており、全ての対象学生が就職支援室の PC5 台で閲覧出来る環境を整えております。また、学校斡旋として学生の書類を作成し・送付までを学校が全てを行い企業様からの連絡を学生に伝えたり、希望者がいる場合には面接の指導も担任が行っております。</p>			

(主な学修成果(資格・検定等))

- ・1年次に受験する三級大工技能士を目指したカリキュラムを組んでおります  
又、卒業してすぐに二級建築士の受験が可能です。
- ・2年次には二級大工技能士を目指したカリキュラムを組み合格を目指します。

その他建築系資格・検定として2級建築施工管理技術検定・建築CAD検定  
2級・3級などの合格も目指しております。

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	1人	1.3%
(中途退学の主な理由) ・ 体調不良(精神的不安定)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任制をとっており、本人と二者面談を行い、さらに保護者との三者面談を実施し打開策等を模索し状況の改善に務めております。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
測量学科	160,000 円	1,000,000 円	40,000 円	校友会費
環境土木工学科	160,000 円	920,000 円	30,000 円	校友会費
建築デザイン学科	160,000 円	900,000 円	30,000 円	校友会費
大工技能学科	160,000 円	900,000 円	30,000 円	校友会費
修学支援(任意記載事項)				
<p>以下の制度により、就学支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資格特待生制度」 …取得した資格により授業料を減免</li> <li>・「北杜学園納付金延納制度」…学納金を分割納入できる制度</li> <li>・「高等教育の修学支援制度」…学びたい意欲のある学生の為に入学金・授業料の減免と給付型奨学金の支給を併せて支援する制度</li> </ul>				

b)学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://sks.ac.jp/disclosure/">https://sks.ac.jp/disclosure/</a>
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
<p>「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、学校関係者評価の結果並びに教育活動の状況や諸々の課題、また学校全体にかかわる情報を発信してまいります。</p> <p>そして本校教職員はその結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の向上に努めてまいります。</p> <p>又、企業等と連携し、また協力を頂きながら学校教育の向上、学園理念である自主・友愛・至誠のもと地域社会に貢献できる、期待に応えられる人材育成に取り組んでまいります。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 宮城県建設業協会 会長	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
熱海建設株式会社 常務取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
株式会社佐元工務店 代表取締役社長	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
株式会社社会 魁設計 設計部長	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://sks.ac.jp/disclosure/">https://sks.ac.jp/disclosure/</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="https://sks.ac.jp/">https://sks.ac.jp/</a>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H104391010198
学校名	仙台工科専門学校
設置者名	学校法人北杜学園

### 1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変による者を除く)		43人	41人	43人
内訳	第Ⅰ区分	19人	18人	
	第Ⅱ区分	11人	15人	
	第Ⅲ区分	13人	—	
家計急変による支援対象者(年間)				0人
合計(年間)				43人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

### 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。 )及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3)退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。